

第9号 平成6年11月

協同
組合 千葉電友会だより



完成間近、千葉市美術館・中央区役所

基本理念

業界の発展並びに 組合員の社会的地位の向上に努め
 研鑽と融和を図り 一視同仁の精神をめざすと共に
 企業の健全なる経営体制を促進し その成長発展によ
 り 地域社会に貢献する

目次

ご挨拶	千葉市長 松井 旭	2
千葉の夜景と照明	千葉市財政局長 島田 行信	3
建築の保存	千葉市建設局建築部保全課長 水越 裕	5
電気と法規	千葉市建設局建築部設備課主幹 野崎 文男	7
美術館・中央区役所の工法について	千葉市建設局建築部営繕課主査 庄林 惲	8
昨日・今日・明日	千葉電友会副理事長 喜多村賢一郎	10
第10回通常総会開催		12
平成6年度経営研修会開催		13
高齢化社会を前にして	共和電気工業(株)代表取締役 塩崎 透	14
雑感	千葉東芝電材(株)代表取締役社長 樋口 昌俊	15
千葉電友会第27回ゴルフコンペ		16
千葉電友会施設見学研修会		18
入札結果報告		19
事務局だより		24



ご挨拶

千葉市長 松井 旭

この度、協同組合千葉電友会には、「千葉電友会だより第9号」を発刊されましたこと、心からお祝いを申し上げます。

皆様方には、日頃より、一致協力され業界の発展はもとより、著しく技術革新が進む中、技術向上に勤められ、便利で快適な市民生活づくりに多大のご尽力をいただいておりますこと、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、本市は、政令指定都市移行3年目を迎え、充実したサービスを展開する中で、成熟した大都市行政が確立しつつあります。

特に、再開発事業・区画整理事業や、都市モノレールの乗入れ、さらには地下道建設等によりJR千葉駅周辺の大改造を進め、政令市にふさわしい表玄関を形成するとともに、幕張メッセ等を核とした国際的な業務機能、新しい時代のライフスタイルに対応した住居機能等、高次で複合的・広域的な諸機能の集積地区である幕張新都心の整備等を促進させ、首都機能を備えた業務核都市、世界に開かれた国際情報都市を目指し、各種の施策を積極的に展開しているところであります。

また、本年は、「第5次5か年計画」の4年次目として、計画の総仕上げに向けて、適切な対応を図るとともに、次期5か年計画の策定につきましても、高齢化・国際化・高度情報化等の時代背景を踏まえ、21世紀を視野に入れた政策課題の検討を進め、今後とも「魅力ある百万都市づくり」を進めて参る所存であります。

どうか、貴組合皆様方には、このような本市の現況をご理解いただきまして、今後とも市政に対しまして、一層のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

おわりに、協同組合千葉電友会の今後ますますのご発展と会員皆様方のご健勝・ご活躍をお祈りいたしまして、ご挨拶といたします。

千葉の夜景と照明

千葉市財政局長 島田 行 信

千葉市が政令指定都市の仲間入りをしてから、全国の先進政令市の方々を迎えての各種会議が本市で開かれるようになりました。市内の会議施設やホテルなども徐々に整備され、案内する場所も増えてきつつあります。来訪者の感想は、「元気がある都市」、「これからが楽しみな都市」など好意的な見方もありますが、「道路が狭く、違法駐車が目立つ」などの辛口のものもあります。

ところで、感想の中に「千葉の夜景は素晴らしかった」と言うのがありました。多少のお世辞が含まれていると思いますが、私も最近このことを感じていましたので、先輩都市の皆さんのこの言葉を、うれしく受けとめたいです。

千葉市が夜景の楽しめる都市になってきたのは、一つには、夜景を眺めることが出来る施設が増えてきたからですが、もう一つは、都市全体の光の量が増えてきたからではないでしょうか。もちろん、ビルや道路、公園、など固定された照明のほか、自動車などの動く明かりも夜景を美しくしています。

かつて流行した歌に「まちの明かりがとてもきれいな、横浜・・・」と言うのがありました。都市の魅力を高める手段として夜景も重要な要素の一つであると思います。千葉電友会の皆様方にも、専門の立場からご提言などをいただき、市としても施設のライトアップや屋外照明のあり方などについて、研究をしてみる必要があります。

それにしても、夜景を演出している多くの照明は、すべて電気工事士をはじめ関係皆様の仕事によって整備されたものであり、電気工事は都市発展の礎であると考えます。

平成6年のカレンダーも残り少なくなり、まもなく新しい年を迎えますが、この一年間、各種公共施設等の電気設備工事を適切に施工していただき、感謝しています。一つ一つのコンセントや照明設備、モーターなどの電気設備が、正常に動いている陰には、多くの関係者の努力があります。

狭い場所での長時間の作業、寒い冬や暑い夏の屋外作業など、縁の下の力持ちとして工事に携わった皆様の力と汗によって整備された施設が、今日も市民生活を支えています。千葉電友会の皆様には、これからも市民に幸せを届ける優良な電気工事の施工をお願いいたします。

終わりに、千葉の夜景が更にきれいになりますよう願うとともに、協同組合千葉電友会の益々のご発展と、会員各社のご繁栄を祈念申し上げます。



建 築 の 保 存

千葉市建設局建築部保全課長 水 越 裕

先日、上野の東京文化会館でチャイコフスキーを聴いてきました。この暮れには、恒例の「第九」を聴きに行く予定です。

開演前の観客は、大空間のロビーで、ある人はビールを飲み、あるいは互いに歓談し、思いおもいに時間を過ごします。そしてホールへと導かれます。

この建物は、昭和36年に建設されたものですが、今なお良好に建物が維持され、新築のコンサートホールと遜色のない環境で、毎日数千人の観客に楽しく少しリッチな雰囲気を提供しています。そこに立つと、十分で細心且つ適切な維持管理で、建物をいつまでも生き生きとさせ続けるための努力が感じられます。ただ、ホワイエのレリーフが無くなっているのが私は残念な気がしています。

私は、この建物より8年前に建設された横浜の神奈川県立音楽堂や、昭和35年に建設された京都の文化会館などによく見学に出かけました。これらの建物は、故前川国男博士の設計によるものです。

博士の設計したこれらの建物のほかに、昭和20年代から昭和30年代前半までに建築された建物で、建築史上に名を残すような建物が、老朽化の時期を迎えようとしています。否、むしろ老朽化に因る事より、機能面など、利用者の多様なニーズに答えきれなくなって来ているのです。

又、これ以前、特に大正期に立てられた各地の県庁舎や市庁舎を始めとした各種の建物も同様に老朽化の時期に入ってきています。そして、いま、保存運動があちこちで起きているようです。

建築物の維持保全には、計画的できめ細かな管理と、それに伴う必要な経費を用意しなくてはなりません。それにライフサイクルコストを入念に考えなくてはならないでしょう。私達の保全課では、これに備えて、市有建築物の老朽度などの現状を調査した保全カルテを整備し、長期的視野に立って保全計画を作成しようとしています。

的確な建築物の維持保全は、その建築物をいつまでも良好な状態で使用することを可能にし、それに係る費用も最小限にとどめる事が可能となります。しかし、ある時

期には、取り壊しか保存かで議論され、その中で、モニュメントとしての保存とか修復再使用での保存など、その保存形式について検討されます。そのとき、歴史的価値、文化的価値、さらに環境やランドマークとしてどうか、と言うような価値観で評価される事が重要です。

本市においてもご承知のように、稲毛市民ギャラリーで保存利用を図りました。また、中央区役所・美術館の建設では、覆堂方式で旧川崎銀行の建物を保存しています。この外にも、昭和初期の建物を修復保存をしようとしています。

建築物の保存、修復又は復元は、長い時間と多くの労力、さらに多大な費用を要します。そしてこれに携わる人々の理解と認識が必要です。ただやみくもにノスタルジアだけで保存を主張するのも危険ですが、経済的観点からだけではなくて、文化の面や歴史的観点から考えなくてはならないものと思います。

このことは、町並みや景観についても同じ事が言えるでしょう。そしてそれらを次の世代に引き継ぐことも重要なことなのです。

終わりに千葉電友会の会員皆様のご発展と御活躍を祈念申し上げます。



電 気 と 法 規

千葉市建設局建築部設備課主幹 野崎文男

電気に関係ある法規には、大きく分類すると強電関係いわゆる電灯、動力に使用する電力関係と、弱電関係いわゆる電話等の通信に代表される法規に分けられます。

以下その法規について記述すると、電気を使用する設備（電話を含める）が人の安全、財産の安全、公共の福祉という面から規制している代表的なものは、「電気事業法」「電気用品取締法」「電気工事士法」「電気工事業法」「建設業法」「有線電気通信法」「電気通信事業法」「消防法」「建築基準法」「労働基準法」「労働安全衛生法」などがあり「道路法」「航空法」「都市公園法」「屋外広告物法」などは、それぞれの法律の目的とすることから電気工作物を規制する立場をとっています。

法令が覚えられない要素の一つとして、法令の用語が難解であることが第一の原因にあげられますが、これら法令の存在を十分に理解し、立法の主旨について体系的に把握し、実務上の必要性に応じ、具体的に各条文について理解し、かつ、“災害は元に戻らない”の格言を念頭におき、設計、現場監理、保守維持管理を行わなければなりません。

これらの法令は、公知の事実として、電気技術者誰でもが遵守しなければならない業務であるので、十分に勉強し、許可、認可、届出などがなおざりにされないようにしたいものです。

おわりに、(協)千葉電友会の会員皆様のご発展とご活躍を心から折念申し上げます。

美術館・中央区役所 の工法について

千葉市建設局建築部営繕課主査 庄 林 惇

設備課から、平成2年4月営繕課に異動して早いもので、4年半になりました。政令都市の移行に伴う建築部では、初めての4箇所（花見川区、稲毛区、中央区、緑区）区役所建設プロジェクトチームが、営繕課に組織され、そのメンバーとして、こんにちまで業務に携わってまいりました。当初は、17名で花見川区役所・稲毛区役所・中央区役所（平成4年）・緑区役所を完成しました。現在は、4名で仮称千葉市立美術館・C区総合支所（中央区役所）建設業務にあたっております。この会報が出版される頃には、本工事も消防検査等の各検査を受けている段階だと思います。

本建物の特徴は、全国でも例がない鞘堂方式（旧川崎銀行を残し、その保存建物を包み込む方式）の建物です。美術館・中央区役所の複合建物着工から今日までの、経過と概要を紹介させていただきたいとおもいます。

本工事は、平成3年第3回定例市議会の承認をいただき、平成3年9月27日にスタートしました。工事は、工区を2分割にし、国道側A工区、その反対側をB工区と区分けし、B工区の杭打工事、A工区では保存建物基礎掘削し移動装置をセット、その間B工区では杭打工事後保存建物の仮置き用耐圧盤施工と進み、保存建物の一回目曳家工事（A工区→B工区）を平成4年5月14日～16日に実施し約3,200トンの建物を24.5m移動して仮置き固定しました。次にA工区地下躯体工事を完了（保存建物を載せる床版が完成）、次に二回目曳家工事（B工区→A工区）を平成5年3月22日～23日に実施、

美術館・中央区役所 の工法について

千葉市建設局建築部営繕課主査 庄 林 偲

設備課から、平成2年4月営繕課に異動して早いもので、4年半になりました。政令都市の移行に伴う建築部では、初めての4箇所（花見川区、稲毛区、中央区、緑区）区役所建設プロジェクトチームが、営繕課に組織され、そのメンバーとして、こんにちまで業務に携わってまいりました。当初は、17名で花見川区役所・稲毛区役所・中央区役所（平成4年）・緑区役所を完成しました。現在は、4名で仮称千葉市立美術館・C区総合支所（中央区役所）建設業務にあたっております。この会報が出版される頃には、本工事も消防検査等の各検査を受けている段階だと思います。

本建物の特徴は、全国でも例がない鞘堂方式（旧川崎銀行を残し、その保存建物を包み込む方式）の建物です。美術館・中央区役所の複合建物着工から今日までの、経過と概要を紹介させていただきたいとおもいます。

本工事は、平成3年第3回定例市議会の承認をいただき、平成3年9月27日にスタートしました。工事は、工区を2分割にし、国道側A工区、その反対側をB工区と分けし、B工区の杭打工事、A工区では保存建物基礎掘削し移動装置をセット、その間B工区では杭打工事後保存建物の仮置き用耐圧盤施工と進み、保存建物の一回目曳家工事（A工区→B工区）を平成4年5月14日～16日に実施し約3,200トンの建物を24.5m移動して仮置き固定しました。次にA工区地下躯体工事を完了（保存建物を載せる床版が完成）、次に二回目曳家工事（B工区→A工区）を平成5年3月22日～23日に実施、

[仮置き位置で後部の一スパンを解体、妻側壁及び西側壁を補強して約2,900トンになった] 保存建物を22.8m移動し、所定のA工区に戻し固定しました。その後A工区では地上階の鉄骨建方、B工区は地下掘削工事、躯体工事鉄骨建方を施工し、今年の2月4日に建物上棟(鉄骨建方完了)を終え、外部ではPC版・アルキャスト(アルミ鋳物外装版)の取り付け、内部では各階床コン打設、配管・スリーブ等の工事を経て、現在工事は、竣工を目指し順調に進んでおります。建物は、地下3階、地上12階、塔屋1階で、地下階は、電気室、自家発電機室、機械室、機械式駐車場等を設置し、1階から5階までが区役所階、6階から11階が美術館になっています。

われわれ担当一同は、工事が無事故・無災害で完了するように工事監理者、建築・電気・機械各建設共同企業体等の方々の協力を得て、無事に竣工を迎え、市民の皆さんに『素晴らしい美術館・区役所が完成した』と喜んでいただければ、このプロジェクトチームの一員になれたこと、このような全国でも類のない建物建設に従事出来た幸せを感じると思います。最後にこのような執筆の機会を設けていただいたことに感謝するとともに、これからの電友会会員の皆様の益々のご活躍とご発展を祈念申し上げます。



昨日、今日、明日

第10回通常総会開催

千葉電友会副理事長 喜多村 賢一郎

このタイトルをお聞き覚えの方もおありますが、今から31年前（1963年）女優ソフィア・ローレンが主演したイタリア映画の題名です。見た記憶がありますが、ストーリーについては、定かではありません。この「昨日、今日、明日」を私自身のことや、諸先輩の話、そして業界のことなどまじえ私の履歷書的にふれてみたいと思います。

昭和26年10月10才の時、福岡県（朝倉郡）から千葉県（東金市）へ転居してまいりました。この年は、第二次世界大戦終了後の日本と連合国間の戦争状態に終止符を打つ対日講話条約が調印された歴史的な年でもありました。翌年4月千葉市（生浜町）へ、更に30年5月現在地へ移りました。以来43年間、千葉市にお世話になっております。中学生の頃は芸能界か通訳業務を希望していましたが家庭の事情で叶えられませんでした。

昭和35年千葉電気工事へ入社、4年後の39年創設者（父）、48年（前社長）と2代に亘り経営者の死に遭遇し経営の難しさ、厳しさを痛感しました。いずれの場合も業界を初めとする皆様には、心暖まるご支援、励ましを頂きましたことは今でも忘れることは出来ません。

ふりかえりますと、本誌5号（25周年記念特集号）に千葉市建築部技監清水克祐氏が建築課時代の思い出を懐かしく語っておられました私が入社して3年後、清水氏、大塚勝氏（保全課主幹）に初めて会うことになりました。その頃は我々の仲間も市内には数社しかなく小工事などはそれぞれ現調し、設計施工の時期もありました。（協）千葉電友会の前身である千葉市電友会（柴谷新太郎会長）の設立が40年5月、そして昭和48年4月待望の設備課（初代課長 大堂三喜代氏）の発足は業界に大きな希望と今日までの発展をもたらしました。のち、奥貢氏（故人）、日高定次氏がそれぞれ設備課長に、そして58年4月清水克祐氏が就任されました。

当時（51年頃？）先輩で中嶋康雄氏、塩崎義雄氏それに岩崎興二氏（現理事長）は業界の三羽烏（別名柴町の帝王）と言われ、並木昭氏（城南電設企業会長）と共に業

界のリーダー格として活躍しておりました。まだ好景気の時代で千葉の栄町は全国的にも有名な歓楽地として栄えておりました。営業の「いろは」から酒の呑み方等々ご指導をいただいたものでしたが今だ上達しておりません。誌面では語り尽くせない思い出が沢山ございますがこのへんで・・・・・・・・

さて、今日日本は若年人口の減少傾向と共に高齢化に向かっており、現実に我々の業界でも例外では無く、これから徐々に世代交替が進むものと思われまます。近頃どこからともなく一部であろうと思いますが、業界人のマナーの悪さを指摘する声が増えて来ており、お客様に対する感謝の念が薄れてきている様な気がしております。核家族時代とは言え、義理人情までもが世代交替や時代と共に忘れ去られるとしたら忍び無いことと思ひます。

ところで、本年4月明治以来90年続いて来たと言われている日本の商習慣の排除を目ざした公共工事の入札制度の改革がありました。とりわけ建設業界に於ては大革命となるものです。この制度が是か非かは別として、これを機に更なる業界体質の見直しや社会的な信頼回復をはかると共に我々の英知を結集し、組合活動の一環としての共存共栄をはかるべき方向にむけて前進すべきだと思ひます。

この苦境のなか、市御当局の建築設備全般に亘るご理解と地元企業育成に特段のご配慮をされていることを感謝するとともに、第6次5ヶ年計画の策定に着手されたとのこと、大都市に向け一層の千葉市の発展を切望しております。



— 総会報告 —

第10回通常総会開催

第10回通常総会が5月26日午後3時45分より千葉市内のちば共済会館に於て組合員70名（委任状含む）出席のもと開催されました。

総会議案審議に先立ち、挨拶に立った岩崎理事長は、「最近の景気の動向、組合員の昨年の実績、当局への要望とその成果、を発表。要望に関しては、当局の施策のご配慮に感謝する旨を述べ、残された事項については何度でも達成出来る迄お願いをしていく所存とも話しをされた。また組合運営に関しては、時代の流れの中、柔軟性を持って事業運営に当たっていくと、力強い方針を発表し、『基本理念』の説明に入った。組合の目的・姿勢・存在を明確にすると共に、人間一人では生きていけないと同様、組合員企業存続の為に、組合員の団結を呼びかけ基本理念の成文化を発表」抱負を述べた。

次に議案審議に移り、平成5年度事業経過報告、同収支決算報告、平成6年度事業計画案、同予算案がそれぞれ原案通り可決承認され総会は閉会した。

また総会終了後、千葉市幹部をはじめとして千葉県中小企業団体中央会、関係団体等の来賓をはじめ総勢110名の出席のもと、懇親会が開催されなごやかなうち午後7時に散会。

（徳久 昌之）



平成6年度経営研修会開催

千葉電友会の恒例の行事として、平成6年9月22日千城台コミュニティセンターにおいて当電友会主催、千葉県配電盤協会共催、千葉市建築部後援による経営研修会を開催致しました。今年度も千葉市職員研修所のご紹介を頂き、企業教育コンサルタントとして著名な沢田良雄氏を講師に迎え、「素晴らしい人間関係をつくる話し方」の演題のもと、心と心の触れ合いを通して充実した人生を送ることの大切さを学ぶことができました。

後援をお願いした千葉市建築部より、清水技監外3名の方々並びに千葉市職員研修所の篠崎主幹の御出席を頂きました。

講演後、千葉中央観光ブドウ園におきまして、バーベキュー大会で楽しい一時を過ごして頂いた事と思います。

今年で4回目の研修会ですが、毎年皆様方会社の発展につながる講師の依頼を心がけておりますので、来年度も多数の会員方々の御出席をお待ち申し上げます。

(染谷 芳雄)



高齡化社会を前にして

伊藤 啓司 (株) 共和電気工業 代表取締役

伊藤 啓司 (株) 共和電気工業 代表取締役 塩崎 透

高齡化社会を目前にして、年金問題と健康問題に大きな不安を感じるのは私だけではなく企業に働く皆さんも、大きな不安を感じているにではないかと思えます。

高齡者になった時に年金ではたして生活が出来るか又健康問題は、大丈夫か、いろいろ不安材料が一杯だと思えます。

企業に働く一人として、安心して働ける企業とは、少なく共、厚生年金保険と年金基金の2つに加入している事が大切です。

自分は若いから関係ないといわず、企業に働く皆さんが明日の自分の問題として受け止め、対策を考えたいものです。

企業として、年金基金に加入することは若い人の雇用対策にも大変大切なことと思えます。

健康問題は若い時からのところがけが大切です。職業並びに趣味、スポーツ等を通じて、人々との交流を図り人間関係を大事にして、若い時から社会参加を心がけ、地域社会とのつながりをもち高齡者になった時今日まで社会にお世話になったお礼と感謝の気持ちで自分の身についた知識や経験を活して、地域社会の福祉活動、ボランティア活動に生きがいとして皆なが喜んで参加できるような社会環境と組織が一日も早く出来ることを望みます。

平成50年 雑感

千葉東芝電材(株)代表取締役社長 樋口昌俊

今年のプロ野球は、巨人がブッチギリで優勝するだろうと云う大方の予想を裏切り、最後までもつれにもつれ、最後130試合目での同率対決という、プロ野球史上初めての展開となりファンをハラハラさせた。結果は巨人が中日を振り切り、やっとの思いで4年振りのリーグ優勝を果たした。巨人ファンはやれやれと云ったところだが、球団も創設60周年を飾り、監督や選手達も生みの苦しみだけだに喜びも一入だろう。がそれ以上にホットしているのが本当の姿であろう。なぜならもし巨人が優勝を逃したら社会問題になると書きたてた新聞もあった程だから。それにしても決定戦となった、10月8日の試合のT.Vの視聴率は50%を上廻ったとの事、驚異的数字だ。巨人、中日ビイキだけでなく日頃は余り野球に感心のない人まで巻き込んだ巨人の功績は大きかった(?)。

一方今年のプロ野球で最大の話題を提供してくれたのは、何と云ってもパリーグ、オリックスのイチロー選手であろう。去年までは殆ど名前も知られていなかった選手が、目立つようと、登録名をカタカナのイチローに改めシーズンに臨んだ。とたん、開幕から打つわ、打つわ、4割以上の高打率をずっと続け、その内に落ちて来ると思っていた人が多い中、前半は4割代をキープして折返しを迎えた。オールスター戦では初出場ながら最も注目される選手として晴れの舞台をかざっている。

この頃から夢の4割バッターの実現が信憑性を帯びてきて、久々に人気先行型のヒーローでなく、実績併行型のヒーローとしてさわやかな印象を与えてくれた。プロ選手としては身体も大きい方ではなく、又スマートな体形でどちらかと云えばひ弱な感じさえする選手が独特の振り子打法で、並いる各球団のエースから面白いようにヒットを量産する姿は、いままでとは一味違うすがすがしさを感じ、拍手を送ったファンも多かったと思う。最終成績は惜しくも4割は切ったもののシーズン最多安打数の記録を大きく塗り替え、球史にかがやかしい一ページを飾っている。来年こそ更に精進して4割への再挑戦を大いに期待している。

ところで長びいている平成不況もようやく底をうったとの観測が出されているが、我々の業界ではいまだその気配は感じられない。巨人が優勝する時は景気が良いと云われ過去はたしかにその通りであった。巨人の優勝とイチロー選手の活躍にあやかり景気の本格的な立直りと着実な上昇を切実に願っているところである。

千葉電友会第27回ゴルフコンペ

優勝 伊藤電業（株） 伊藤 征司氏

今年の夏は例年にない暑さ続きでした。暑さも終わりスポーツの秋、第27回千葉電友会ゴルフコンペが行われる。

11月2日（水）東金市 東千葉カントリークラブ西コースにて、千葉市内電気業界よりすぐりの選手による試合が催された。

当日は雲一つ無い好天のもと、すばらしいゴルフ日よりのなか参加選手5組18名が、日頃鍛えた実力を今日の試合にかけてスタート致しました。

コンペも27回ともなると気心も知れ、相手の腕前も知りつくし、和気藹々の内に仕事も忘れ楽しい一日を無事過ごすことが出来ました。

今回様子をみますと、日頃の努力によるものと思われませんが、腕を上げられた方々が多々みうけられ、現在シングルプレーヤーも4名程おります。

ゴルフは1ラウンド一万五千歩は歩くと云われ、健康には最適のスポーツといわれます。次回皆様の参加をお待ち致します。

(桜田 尚栄)

成績は下記の通り。

優 勝	伊藤電業	伊藤 征司氏
準優勝	北陽電気産業	久保 昭男氏
三 位	吉田電設	吉田 孝次氏
D. C	山本 勝生・久保 昭男氏	
N. P	伊藤 征司・山田 恒夫・小野田 藤蔵・福田 昭男氏	
B. G	伊藤 征司氏	



うれしい優勝者伊藤社長



参加メンバー

千葉電友会施設見学研修会

平成6年度の県外研修会は6月10日～11日の両日開催されました。

参加者は36名にて1日目、烏崎藤村作「千曲川旅情の詩」で有名な小諸城跡「懐古園」を見学、寄棟造り二層の情緒ある信州の温泉地、上山田温泉ホテル清風園に宿泊し楽しい懇親の夜を過ごしました。

二日目は、真田氏の氏寺「北向観音」を参観後、中央アルプスを車窓より眺めながら、諏訪湖畔に鎮座します「諏訪大社」にて安全祈願をし、親睦を兼ねた研修旅行を無事終了いたしました。 (藤沼 清一)



事務局だより

計 報

(組合員)

- (株) 吉田電設代表取締役 吉田孝次氏 御令室道子様
平成6年4月25日 享年50才
- (株) 成田電気代表取締役 成田勝秋氏 御尊父殿様
平成6年6月18日 享年79才

— 謹んでお悔やみ申し上げます —

新規加入組合員



- (株) 日本ライト電商
代表取締役 平山力夫氏
(住所) 千葉市若葉区
加曽利町1583の3
(TEL) 233-0135



- (株) 聖電社
代表取締役 宮澤 清氏
(住所) 千葉市若葉区
みつわ台
2丁目4番地11号
(TEL) 284-1226



- (有) ヒカル電気工業
代表取締役 梅本喜和氏
(住所) 千葉市美浜区幸町
2-12-14-404
(TEL) 244-0746



- (有) 酒井電気商会
代表取締役 鎗田賢一氏
(住所) 千葉市稲毛区
六方町114
(TEL) 421-5331



- (株) セイコー電設
代表取締役 上村清孝氏
(住所) 千葉市中央区矢作町
497-78
(TEL) 225-4704

代表者変更

(賛助会員)		社名	代表者
5年8月	D Xアンテナ株式会社	城西製作工業	1,000
	(新) 千葉営業所長	宮 永 正 則 氏	2,000
	(旧) 千葉営業所長	高 橋 泉 氏	2,700
5年12月	松下電器産業株式会社	松下電器	10,500
	(新) HALS千葉営業所長	成 澤 輝 悦 氏	39,500
	(旧) HALS千葉営業所長	粕 本 貞 夫 氏	39,500
6年3月	千葉東芝電材株式会社	東芝電材	2,400
	(新) 代表取締役	樋 口 昌 俊 氏	
	(旧) 代表取締役	根 本 茂 夫 氏	
6年4月	因幡電機産業株式会社	因幡電機	
	(新) 千葉営業所長	松 本 庄次郎 氏	
	(旧) 千葉営業所長	増 本 達 郎 氏	
6年4月	株式会社関東扇港電機	関東扇港電機	
	(新) 専務取締役	前 川 和 彦 氏	
	(旧) 代表取締役	高 橋 要 吉 氏	
6年4月	東芝ライテック株式会社	東芝ライテック	
	(新) 千葉営業所長	永 田 実 氏	
	(旧) 千葉営業所長	西 田 武 夫 氏	
6年5月	光源ポリシー株式会社	光源ポリシー	
	(新) 代表取締役	砂 田 重 政 氏	
	(旧) 代表取締役	鶴 川 光 一 氏	
6年6月	岩崎電気株式会社	岩崎電気	
	(新) 千葉営業所長	倉 持 清 氏	
	(旧) 千葉営業所長	高 橋 秀次郎 氏	
6年6月	ミツワ電機株式会社	ミツワ電機	
	(新) 千葉支店長	竹 田 義 正 氏	
	(旧) 千葉支店長	野 崎 和 彦 氏	

5年12月 松下電工株式会社

(新) 千葉電材営業所長 大西敏志氏

(旧) 千葉電材営業所長 西沢利昭氏

住所変更

(組合員)

6年4月 (有) 西千葉電設

(新) 千葉市稲毛区作草部町918番地4号

(旧) 千葉市稲毛区作草部町929番地

(賛助会員)

6年4月 東芝ライテック(株)千葉営業所

(新) 千葉市中央区千葉港4番3号千葉県経営者会館4F

TEL (247) 7210

(旧) 千葉市中央区弁天町275番地弁天レイクハイム1号館

TEL (256) 6722

6年4月 ニッタン(株)

(新) 千葉市花見川区幕張本郷5の12の5 TEL (275) 7576

(旧) 千葉市中央区寒川町1丁目173番地 TEL (227) 6565

6年5月 能美防災(株)千葉支社

(新) 千葉市中央区若草1の2の12 TEL (266) 0303

(旧) 千葉市中央区神明町13番1号大宗神明ビル

TEL (246) 3677

6年10月 (株)大東電機製作所

(新) 八街市沖字中沖601番地 TEL (445) 6751

(旧) 千葉市若葉区太田町90番地1 TEL (231) 2098

第3回千葉市優良工事請負業者決定

平成6年10月25日ちば共済会館にて、本組合員の有限会社西千葉電設代表取締役高橋豊七氏が受賞されました。

— おめでとうございます。 —

発行所 協同組合千葉電友会

千葉市中央区栄町24-9

TEL 043-222-8828

FAX 043-224-8288

発行責任者 岩崎 興 二

編集責任者 徳久 昌 之